

水と緑と詩のまち、前橋

前橋市は、赤城山や榛名山、妙義山といった上毛三山に囲まれ、利根川をはじめとする水系に恵まれた、美しい自然環境を誇るまちです。かつては、「糸のまち」として世界に知られましたが、製糸業の衰退とともに在り方が変化し、昭和49(1974)年の「水と緑と詩のまちをつくる条例」の制定より、緑豊かな景観や水辺空間を活かしたまちづくりが進められてきました。前橋市出身の詩人、萩原朔太郎が詩に詠んだ広瀬川は、今も市街地を悠々と流れ、川岸の柳や石積護岸にかつての面影を見ることができます。「前橋文学館」や朔太郎像、詩碑が立ち並ぶ「詩の道」などの広瀬川周辺のエリアは令和に入ってから整備され、市民や来訪者が、自然と文化を身近に感じられる憩いの場となっています。



アートが身近なまちづくり

「美術館構想」から約6年、中心繁華街の旧デパートをコンバージョンし、平成25(2013)年に誕生したのが「アーツ前橋」です。「まちの散歩道のような美術館」をコンセプトに、大きさの異なる展示空間が連続しながら繋がることで、人々が気軽に街を散策しつつ、アートと親しめる施設となっています。「まえばしガレリア」はその10年後、令和5(2023)年にアートと生活空間が共生する場として開かれ、複数のギャラリーとレストラン、住居が一体となった複合施設として、前橋のアート文化を盛り立てています。この2つの施設の距離は徒歩約3分。また、「まえばしガレリア」から広瀬川に向けて2分ほど歩けば、平成30(2018)年に設置された、岡本太郎氏の作品『太陽の鐘』も見ることができます。周辺商店街には、近年続々と新たな店舗がオープンしており、今後も人とアートの交流の中心地としての成長が期待されます。

OMIYAGE INFORMATION

幸煎餅

明治29(1896)年創業の幸煎餅、七福神のパッケージが目目を引く、ひと口サイズの「七福神あられ」は定番のお土産です。『太陽の鐘』近くにある本店では、通常7種の詰め合わせや、「焼きまんじゅう風味」の入ったぐんまちゃんパッケージなどを求めいただけます。



YUMMY'S TOPIC!



なか又 前橋本店

中央通り商店街に本店を構える前橋発の和む菓子店。職人が毎日手焼きする「ふわふわぬき」をぜひご賞味ください。